



エコリーフ事務局からのお知らせ

- 1)内訳データシートの記入ポイント
- 2)PCR/ラベルへの記載について
- 3)エコリーフ支援ソフト 改訂について
- 4)ロゴマークの活用方法について
- 5)シリーズ製品・類似製品の違いについて
- 6)PCR単位の登録料金について
- 7)今後の検証予定

<http://www.jemai.or.jp/ecoleaf/>
社団法人産業環境管理協会 エコリーフ事業室

エコリーフの検証書類一式

内訳データシートの記入ポイント

【公開情報の書類】

- 様式1. 製品環境情報(PEAD)
- 様式2. 製品環境情報開示シート(PEIDS)
- 様式3. 製品データシート(PDS)



様式1



様式2



様式3

【非公開情報の書類】

- 様式4. 製品の部品構成図
- 様式5. フロー図
 - ①製造フロー図
 - ②ステージフロー図
- 様式6. 内訳データシート
 - ①内訳データシート(製品用)
 - ②内訳データシート(製造サイト用)
 - ③内訳データシート(ステージ用)
- 様式7. 関連計算書
 - ①LCI計算書(ステージ毎+集計)
 - ②LCIA計算書(ステージ毎+集計)



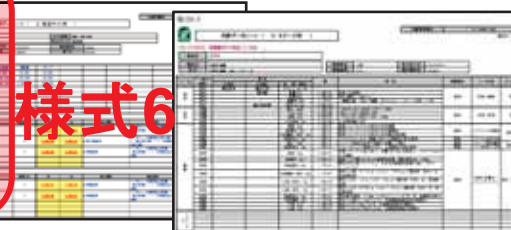
様式4



様式5



様式6



様式7



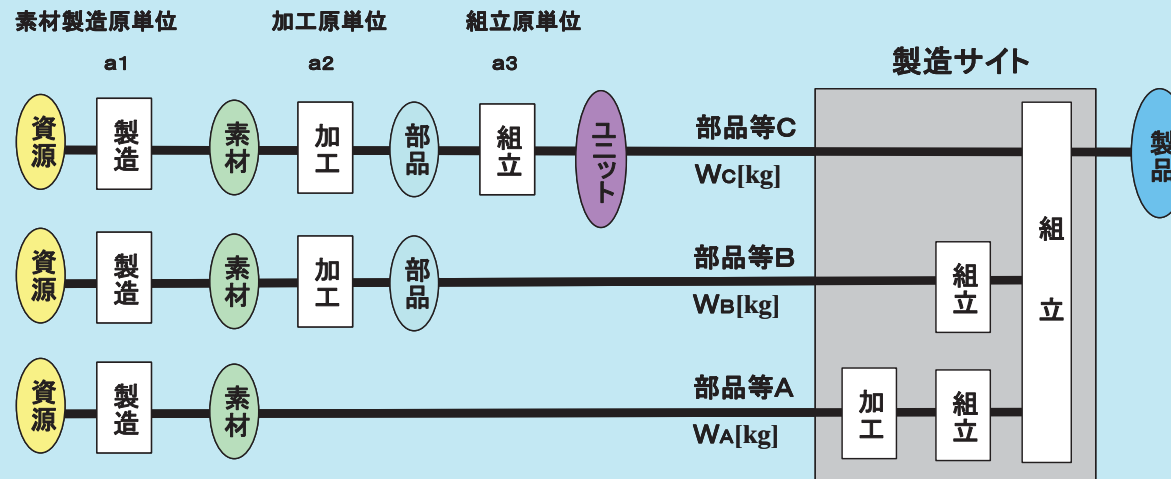
部品等A, B, Cの記載について①

内訳データシートの記入ポイント

製品データ検証書類作成マニュアルより、抜粋

製品を構成する部品は、サイトに搬入される形態により、以下の3種類に分類・定義している。

- ① 部品等A
サイト搬入までの(当該製品の製造に供するための)加工および組立工程の環境負荷を、共通原単位を用いて推定する必要のない原材料・部品類。
- ② 部品等B
サイト搬入までの加工工程の環境負荷は共通原単位を用いて推定する必要があるが、組立工程については必要のない原材料・部品類。
- ③ 部品等C
サイト搬入までの加工及び組立工程の環境負荷を、本プログラムが提供する共通原単位を用いて推定する必要のある原材料・部品類。

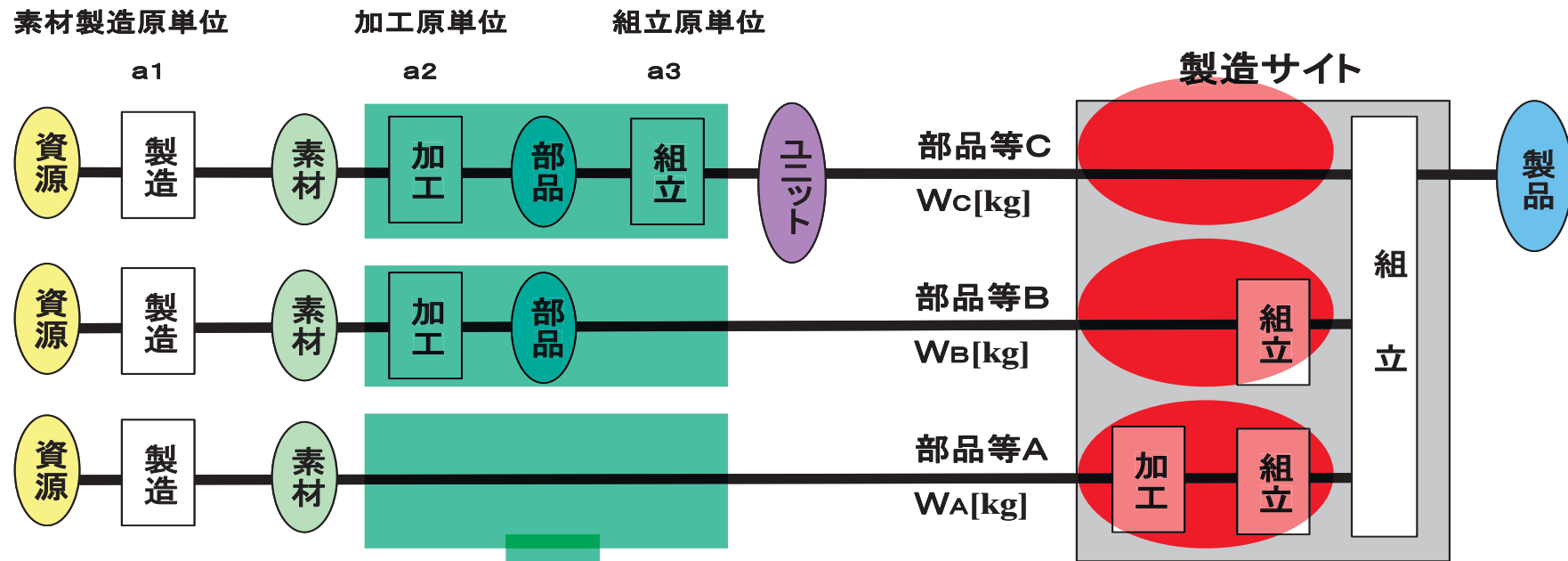


記載が分かりにくいので、改めて解説いたします。

部品等A, B, Cの記載について②

内訳データシートの記入ポイント

- ・製造サイトに入ってくる前の工程（加工・組立）によって、分類が変わるので注意して下さい！



この部分の工程で判断します。

この部分で分類分けするのは、間違い！

部品等A, B, Cの記載について③

内訳データシートの記入ポイント

【エコリーフの製造ステージのLCA算定方法】

製造サイトへの搬入形態により、納入以前の負荷を、以下の4パターンで算定。

【搬入形態】

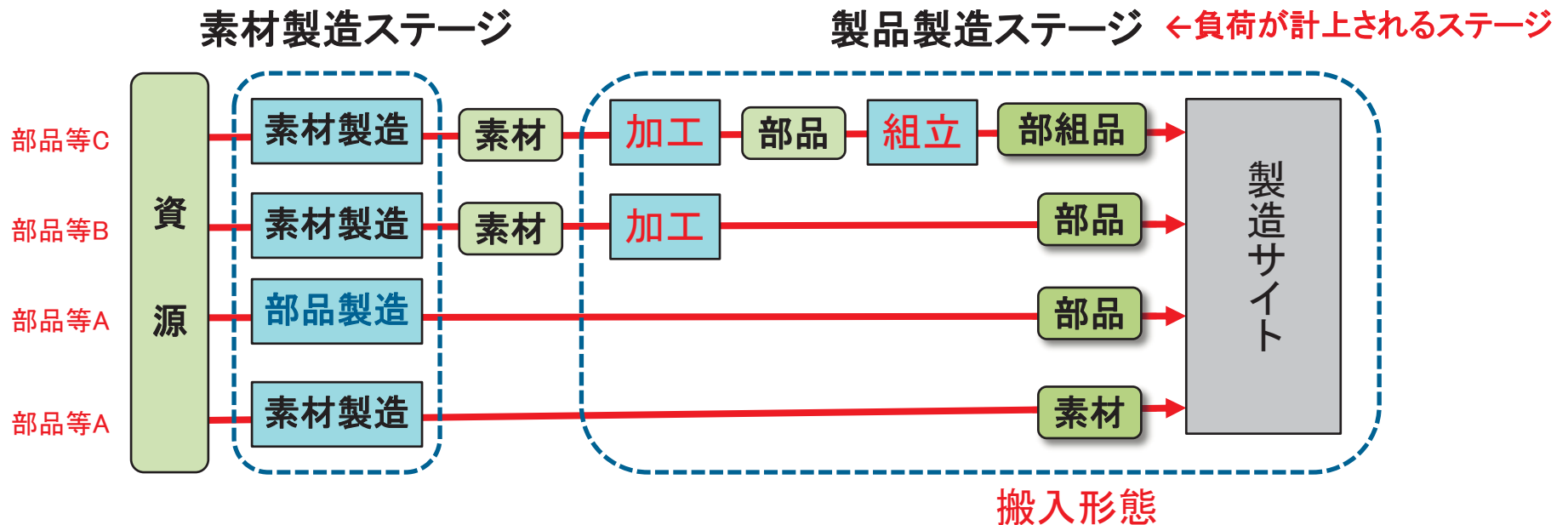
①部組品 : $L = (\text{「素材製造原単位」} + \text{「加工原単位」} + \text{「組立原単位」}) \times \text{「部組品質量」}$

②部品 : $L = (\text{「素材製造原単位」} + \text{「加工原単位」}) \times \text{「部品質量」}$

* 部品製造原単位が有る場合 (例えば、半導体パッケージ、積層基板、実装回路基板など)

③部品 : $L = \text{「部品製造原単位」} \times \text{「部品質量」}$

④素材 : $L = \text{「素材製造原単位」} \times \text{「素材質量」}$



部品等A, B, Cの記載について④

内訳データシートの記入ポイント

【内訳データシート(製品用)の具体的記入のポイント】

～「部品形態」、「代表加工形態」、「組立形態」の記入方法～

(1) 部品ごとに、製造サイトへの搬入形態により、下記の3種より「部品形態」を選択入力する。

	搬入形態	原単位の種類
部品等A	素材の状態 又は、 原単位が有る部品の形態で サイトへ搬入。	一般: 半導体パッケージ、積層基板、実装 回路基板、圧縮機、中型モータ 電池: アルカリマンガン乾電池、マンガン 乾電池、鉛蓄電池 その他: 洗剤、インク類、潤滑剤
部品等B	外部で、既に素材を「加工」した 部品としてサイトへ搬入。	鉄プレス、非鉄プレス、インジェクション成形 加工、ブロー成形加工、ガラス成形加工
部品等C	外部で既に素材を 「加工」及び「組立」した部組品 としてサイトへ搬入。	部組組立

部品等A, B, Cの記載について⑤

内訳データシートの記入ポイント

【内訳データシート(製品用)の具体的記入のポイント】

～「部品形態」、「代表加工形態」、「組立形態」の記入方法～

(2)「部品形態」の種類により、以下のように「代表加工形態」と「組立形態」を選択入力する。

部品等A

⇒空欄(選択不要)

部品等B

⇒「代表加工形態」のみ選択入力する。
例: 鉄プレス、非鉄プレス、インジェクション成形加工、ブロー成形加工、ガラス成形加工

部品等C

⇒「代表加工形態」と「組立形態」を選択入力する。
例: 「鉄プレス」+「部品組立」...

様式6-1

内訳データシート (1. 製品用)

ISO, JIS14041の、附属書AのA.4を参考に、新規作成。

製品名	衣類洗濯機 ABC-227	シート名称	本体本体
型式	衣類洗濯機 ABC-227	計上ステージ	素材製造
実施者名	JEMAI	記入完了日	2010/06/29
調査年度	2010	開始月	2010/05
		報告場所名	エコリーフ
		終了月	2010/06

《部品形態》①部品等A(加工・組立負荷計算不要)、②部品等B(組立負荷計算不要)、③部品等C(加工・組立負荷計算要)
《加工・組立形態》部品毎に、代表加工法と代表組立法を決める

No	項目		部品データシート項目					金属					紙・木
	ユニット名称	部品名称	部品形態	材質	質量(kg)	代表加工形態	組立形態	冷延鋼板(kg)	冷轧鋼板(kg)	Al板(kg)	Cu板(kg)	洋紙(kg)	
1	制御ユニット	電子部品	部品等C		0.2		部品組立(kg)						
2	外ケース	上部ふた	部品等A		0.4								
3		側面部	部品等A		0.7								
4		底部	部品等B		0.4	インジェクション成形加工			0.1				
5	洗濯槽	外槽	部品等A		1.5				0.2				
6		内槽	部品等A		2.5								
7	伝達ユニット	クラッチ	部品等C		2.6	鉄プレス(kg)	部品組立(kg)	2	0.1	0.3			
8		軸	部品等B		0.5	鉄プレス(kg)			0.2				
9	搅拌ユニット	羽根	部品等A		2.9								
10	槽約りユニット	横バランス	部品等B		4	鉄プレス(kg)	部品組立(kg)	2	1.5	0.4			
11		縦バランス	部品等C		5	鉄プレス(kg)	部品組立(kg)	3	1	0.5	0.3		
12	駆動ユニット	モータ	部品等B		6.4	鉄プレス(kg)		3.7		0.8	1.2		
13	包装等	包装材	部品等B		1.2	インジェクション成形加工						1	
14		リサイクル部品	部品等B		0.1	鉄プレス(kg)							
15		リユース部品	部品等A		0.1								
分類			累計内訳	項目									
素材製造			部品等A+部品等B+部品等C	合計質量(kg)		10.7		3.1	2	1.5	1		
加工(選択)			部品等B+部品等C	加工形態		鉄プレス(kg)	インジェクション成形加工(kg)						
部品組立(選択)			部品等C	合計質量(kg)		18.6	1.6						
				組立形態		部品組立(kg)							
				合計質量(kg)		7.8							

2) PCR/ラベルへの記載について



お願い事項

- ①ラベルのPDF化の際のご注意
- ②ラベル(様式1)への日付・代表者氏名の記載について

任意事項

- ③補正検証を実施したラベルの記載について
- ④グラフ・表組の数値の記載について
- ⑤新旧のテンプレートについて

①ラベルのPDF化の際のご注意

PCR/ラベルの記載について

様式1(F-01-03)

製品環境情報
Product Environmental Aspects Declaration

A セクション

B セクション

C セクション

D セクション

E セクション

	全ステージ合計
温暖化負荷(CO ₂ 換算)	xxx kg (xxx kg)
酸性化負荷(SO ₂ 換算)	xxx kg (xxx kg)
エネルギー消費量	xxx MJ (xxx MJ)

各ステージ毎の温暖化負荷 CO₂換算値[kg]

ステージ	温暖化負荷 CO ₂ 換算値[kg]
原料	572.1
製造	81.5
物流	2.3
使用	437.5
廃棄	4.5
リサイクル	-123.7

事務局にお送り頂く場合は、原則としてPDF化の際には、様式1～3までを一連のファイルとして保存して下さい。

PDF化した際に、表示部分が欠けることがございます。(特に様式1)

提出前に最終確認して頂けますよう、よろしく申し上げます。

(特に左図 赤丸部分にご注意ください。)

【その他環境関連情報】

製品環境情報「PEAD」制作上の留意点 (詳細はガイドライン 3.2 節を参照)

1. ファイルフォーマット: MS-Word2000 とする。
2. サイズ: A4 サイズに印刷できる範囲で作業とする。
3. 登録番号: シンボルマーク下に登録通知書記載の「製品登録番号」(例 No.XY-01-000)を記載する。
(外部検閲方式による場合は、原則として検閲番号の最初の「X-」を省いた番号とする)
4. 「その他環境情報」: 記載は必須ではない。なお記載しない場合はタイトルも省略する。
5. 注記4 (出荷国と使用原単位データの出力については、海外生産が関わる製品についてのみ記載する。)

PCRレビュアーの所属: 任意書氏名 所属

ISO14025 に従ったラベル及びデータの独立した検閲 口内部 口外部 第三者検閲者+: 氏名

プログラム運用者: 社団法人環境情報管理協会 コーポレート事務局 ecoleaf@jemai.or.jp

※システム認定を受けた事務局内の検閲の場合は、「第三者検閲者」*の後に「システム審査員」の名称を記載のこと。

②ラベル(様式1)への日付・代表者氏名の記載について

<ラベル様式1>

PCRレビューの実施 **評価レビューパネル** 2011年●月●日 代表者氏名 ●● ●● 所属 ●●大学
 ISO14025に従った本ラベル及びデータの独立した検証 内部 外部 第三者検証者*:氏名 ●● ●●
 プログラム運用者:社団法人産業環境管理協会 エコリーフ事業室 ecoleaf@jemai.or.jp

*システム認定を受けた事業体内の検証の場合は、「第三者検証者」*の後にシステム認定をおこなった審査員名を記載のこと。

原則として、「評価レビューパネル」と記載。ただし、①が2008年3月31日までは、「審議委員会」と記載。

該当PCR下に記載のレビュー実施日(制定/改訂)

該当PCR下に記載の代表者名と所属名

システム認定の場合:「第3者検証者」と氏名の間に「システム審査員」と追記し、「システム認定更新時の主審査員名」を記載

<PCRの記載 (改訂の場合の例)>

PCRレビューの実施

レビュー実施日(制定/改訂)	2007/3/1
評価レビューパネル	代表: ●● ●● 所属: ●●大学

※現行のPCRを対象に、有効期間は、制定・更新または継続を目的とした改訂から丸3年とする。

本PCRの改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2005/1/22	01	制定
2007/3/1	02	●●●●●●●●●●
2010/3/1		更新

現在、事務局ではPCRテンプレート変更・統一の計画を行っております。

外部検証・内部検証については、記載について事務局から細かな指示があることが予想されますが、ご容赦いただけますよう、よろしくお願いいたします。

③補正検証を実施したラベルの記載について

1) 補正内容により、様式1の記載方法が変わるため、補正申請書にどのPCRを用いるかご記載下さい。

2) 補正検証した場合、原則として、

- ・ラベルの公開日は変更いたしません。
- ・ラベル番号の末尾に「-A」「-B」などのアルファベットがつきます。
(補正の回数によって、変化します。)



④ グラフ・表組み数値の記載について

事務局では、ラベルの見やすさを考慮し、数値の記載について以下のようなアドバイスを行っております。

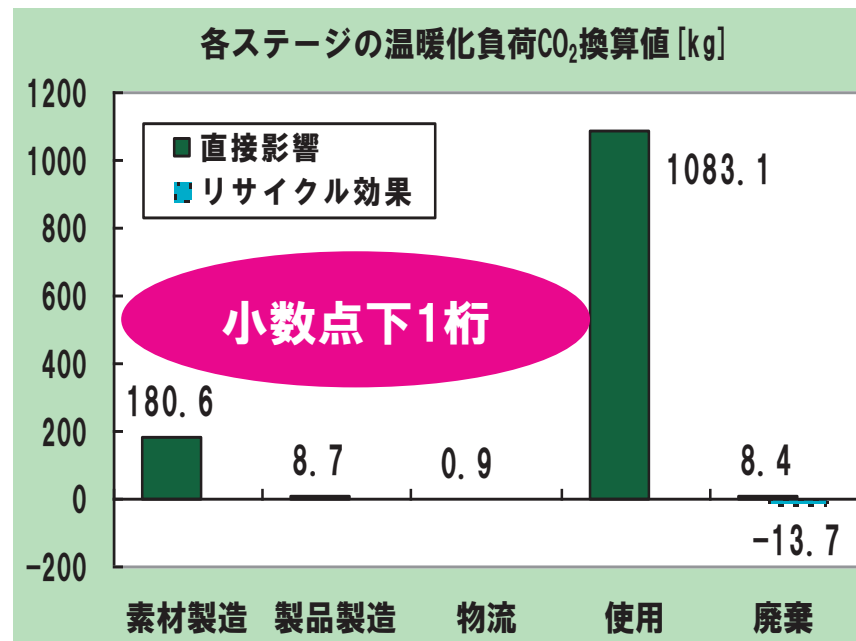
- 1) 表組み数値：グラフ表記の桁数に揃えます。(例えば、下1桁など)
- 2) エコリーフ原単位は、有効数字3桁の記載になっているので、算出された数値は既に有効数字3桁に換算されたものと見なします。
- 3) エネルギー消費表は、有効数字3桁に数字を丸めて表記します。

<表記の例>

ライフサイクルでの消費・排出	全ステージ合計
温暖化負荷 (CO ₂) 換算	1281.7kg (1268.0kg)
酸性化負荷 (SO ₂) 換算	1.45kg (1.42kg)
エネルギー消費量	17,700MJ (17,500MJ)

* () 内はリサイクル効果^(注3)を含む負荷を示します。

有効数字3桁

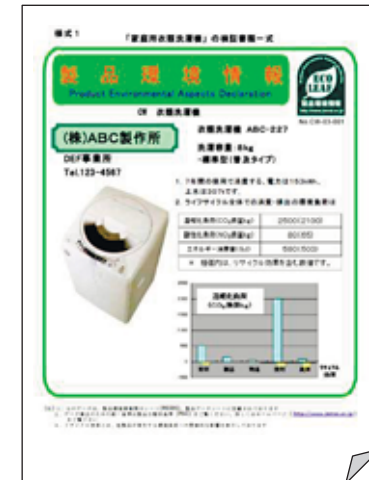


⑤新旧のテンプレートについて

1) 公開年月日の追記について

2007年以前の公開ラベル<様式1>では、公開年月日が記載されておりません。
 そこで事務局では補正時等の機会に追記いただくことを、任意にて推奨しております。
※補正検証の際は、「ラベルの公開日」は変わりません。

2007年前の<様式1>



2) その他

2008年3月31日以前の記載のラベルについて、記載内容に変更がある場合がございます。その場合、事務局の修正案をお伝え申し上げます。
※「その他環境関連情報」の有無、検証/審査/レビュー等の実施、等



現行の<様式1>

①エコリーフ支援ソフト 「解析」機能について

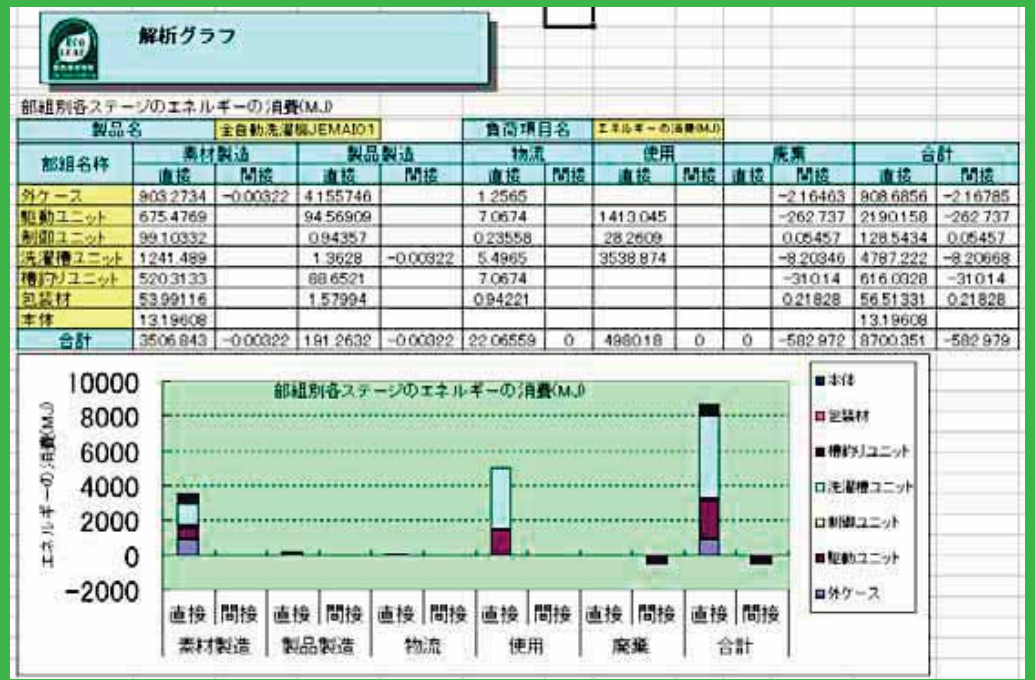


解析条件 データ解析を行う
部組等を選択

計算



解析データ表示



②動作環境について

この度、2つのバージョンで有償レンタル開始いたします



動作環境	Ver.	①			②	
		Ver.3.2 (Win 7 対応版)	Ver.3.2 (Win XP, Vista 対応版)	V3.1(旧ソフト)		
Windows	7	●	×	×		
	Vista	●		×		
	XP	● (SP1以降)				
Office	2010	●	×	×		
	2007	●				
	2003	●				

Windows7、Office 2010で使用が可能になりました

4) エコリーフ ロゴマークのご利用について

小サイズ登録マークの 製品等への表示について

以下の条件において、事前にエコリーフ事業室で
確認することを前提として小サイズマークの使用を
認めることとします。



・印刷品位等の問題により同マーク内のURLおよびエコリーフ取得製品登録番号またはシステム認定取得番号の判読不可と判断した場合

・海外での使用が想定される場合

追加されました

ただし、小サイズマーク近傍に、JEMAIのホームページアドレスおよび製品登録番号を付記し、
認証したラベルが特定できる記載であることが前提です。

※詳しくはエコリーフHPより「エコリーフマーク利用ガイド」をご覧ください。

http://jemai-live.ashleyassociates.co.jp/JEMAI_DYNAMIC/data/current/dataobj-349-datafile.pdf





エコリーフの料金体系

【審査・検証料金】

		料金（税抜）		単位	備考
検 証	標準料金	220,000		円/ラベル	
	類似製品	2-3製品目	165,000		
		4-5製品目	110,000		
		6製品目以降	55,000		
	シリーズ製品	実測ラベルのみ	264,000		22万（標準料金） ×1.2
計算ラベル		26,400	26,4万（実測ラベル料金）×0.1		
審 査	標準料金	1,400,000		円/ラベル /3年間	

【ソフト貸与料】

	料金	単 位	
貸与期 間	20,000	円/3か月	個別ラベルはPCR単位、システム認定企業は事業体単位
	30,000	円/6か月	
	50,000	円/12か月	

【ラベル登録料金】

		新規料金	更新料金	単位
ラベル単位		30,000	20,000	円/ラベル
P C R 単 位	売 上 高	1億未満	70,000	円/年/PCR
		10億未満	10+（売上高-1）億円×5/9	
		100億未満	20+（売上高-10）億円×10/90	
		1000億未満	40+（売上高-100）億円×20/900	
		1000億～	600,000	

ex. 売上高50億円のPCR単位料金は、 $20+(50-10) \times 10/90 = 24.4$ 万円/PCR/年

5) シリーズ製品と類似製品の違いについて

A 1製品の検証



標準料金： **22万円** (税抜)

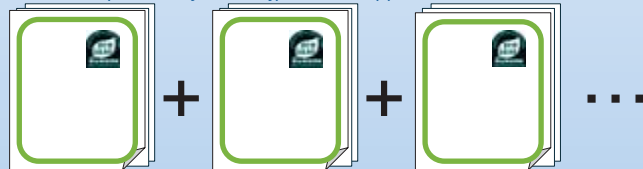
B 複数製品の検証

PCRの定義
参照

1. 類似製品として同時に複数検証を受ける場合

▶製品毎にラベル(登録番号)が付与されるタイプ

※類似製品としての検証になるかどうかは、チェックシートにて判断すること(HPで公開中)。 <http://www.jemai.or.jp/ecoleaf/application/index.cfm>



【 料金の計算方法=①の基本料金+下記製品毎にかかる料金の合計 】

◆ 検証料金表 (税抜き)

2-3製品目	¥165,000 /製品	標準料金の75%
4-5製品目	¥110,000 /製品	標準料金の50%
6製品目以降	¥55,000 /製品	標準料金の25%

検証製品数	1製品目	2製品目	3製品目	4製品目	5製品目	6製品目 ~	料金計 (税抜)
2製品	220,000	165,000					385,000
3製品	220,000	165,000	165,000				550,000
4製品	220,000	165,000	165,000	110,000			660,000
5製品	220,000	165,000	165,000	110,000	110,000		770,000
6製品	220,000	165,000	165,000	110,000	110,000	55,000	825,000

2. シリーズ製品として検証を受ける場合

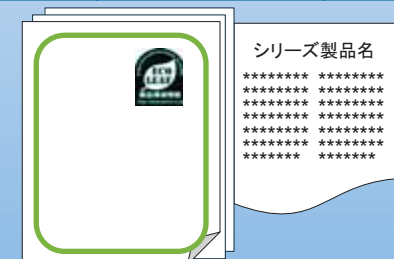
▶1シリーズに含まれる製品の全てに対し、1つのラベル(登録番号)

PCRにシリーズの定義方法等の指定がある場合にシリーズ製品としての検証が可能です。

計測方法等は、PCRにおける設定を前提とします。シリーズとされる製品名はラベルに別紙として添付されます。

◆シリーズ製品の検証料金例 (※実際はラベルの内容構成に応じて決定します)

実測ラベルのみ	¥264,000 /シリーズ	標準料金(22万) × 1.2にて計算
計算ラベル	¥26,400 /シリーズ	単独設定は無。実測ラベルの存在が前提



6) PCR単位登録料金設定

対象製品売上 (億円/年)		PCR単位	個別登録件数(最小)	
			新規(3万)	更新(2万)
未満	1	7.0	2.3	3.5
以上	1	10.0	3.3	5.0
	2	10.6	3.5	5.3
	4	11.7	3.9	5.8
	6	12.8	4.3	6.4
	8	13.9	4.6	6.9
未満	10	15.0	5.0	7.5
以上	10	20.0	6.7	10.0
	20	21.1	7.0	10.6
	30	22.2	7.4	11.1
	50	24.4	8.1	12.2
未満	100	30.0	10.0	15.0
以上	100	40.0	13.3	20.0
	200	42.2	14.1	21.1
	300	44.4	14.8	22.2
	500	48.9	16.3	24.4
未満	1000	60.0	20.0	30.0
以上	1000	60.0	20.0	30.0

売上高範囲 (1~10億円) 登録料金= 10+(売上高-1) × 5/9
 売上高範囲 (10~100億円) 登録料金= 20+(売上高-10) × 10/90
 売上高範囲 (100~1000億円) 登録料金= 40+(売上高-100) × 20/900

例: 該当PCRにあてはまるすべての製品の売上高が年間8~10億の場合。

PCR毎にかかる登録料金 **15万円**
 (この料金にて、ラベルをいくつでも登録更新することができます)



個別のラベル料金に換算すると
 新規ラベル **5** 件分
 更新ラベル **7.5** 件分
 に相当します

7) H23年度 今後の検証予定

平成23年度 外部検証スケジュール

	検証申込締切日	検証書類提出日	検証実施期間
第25回	4/25(月)	5/13(金)	5/23(月)～5/27(金)
第26回	5/20(金)	6/3(金)	6/13(月)～6/17(金)
第27回	6/24(金)	7/8(金)	7/19(火)～7/22(金)
第28回	8/19(金)	9/2(金)	9/12(月)～9/16(金)
第29回	9/22(木)	10/7(金)	10/17(月)～10/21(金)
第30回	10/28(金)	11/11(金)	11/21(月)～11/25(金)
第31回	1/20(金)	2/3(金)	2/13(月)～2/17(金)
第32回	2/10(金)	2/24(金)	3/5(月)～3/9(金)

平成23年度 評価レビューパネル
スケジュール

	レビューパネル 開催日	レビュー書類 提出日
第19回	5/13(金)	4/28(木)
第20回	7/1(金)	6/10(金)
第21回	9/2(金)	8/19(金)
第22回	11/11(金)	10/28(金)
第23回	1/20(金)	12/27(火)
第24回	3/16(金)	3/2(金)